

令和4年 月 日

案

三田市長 森 哲 男 様

三田市子ども審議会
会長 名須川 知子

答 申 書

令和4年7月29日付三す第 169 号で諮問のありました、「第2期三田市子ども・子育て支援事業計画の中間年見直し」について、別紙のとおり答申いたします。

なお、市長におかれては、答申を十分尊重いただくとともに、審議の過程で各委員より出された意見・提言に十分留意され、引き続き「子どもの夢と未来が輝くまち さんだ」の実現に向けて多様な主体と連携した取り組みを進め、計画の目標達成に努められるよう要望します。

【参考：審議経過】

第1回三田市子ども審議会（令和 4 年7月29日）

第 2 期子ども・子育て支援事業計画（第 6 章）の事業実績、事業中間年見直しの考え方について

第2回三田市子ども審議会（令和 4 年10月14日）

中間見直しの方針、事業計画中間年見直し（案）について

第3回三田市子ども審議会（令和 4 年11月25日）

事業計画に係る答申（案）及びこれに基づく見直し（案）について

別紙

第2期三田市子ども・子育て支援事業計画の 中間年見直しについて

【意見】

- 1 確保方策が変化した病児保育事業については、子育て世帯にとって安全安心のセーフティーネットとしての役割を担うものであることに鑑みて、地域の社会資源の効果的な活用などにより、早急な確保方策の充実に努めるほか、中長期的にも持続可能性と利便性を維持できる体制の確保に努められたい。
- 2 悩みや困りごとを抱えているにも関わらず適切なサービスを受けていない子育て世帯がないよう、市民への適切な情報提供とあわせて事業間での情報共有を図るなどにより、必要な支援が必要な時に届けられる「しくみづくり」に努められたい。
- 3 次期第3期子ども・子育て支援事業計画の策定の際には、コロナ禍などにより、少子化は一段と進行していることも想定される。こうした少子化の動向を注視しつつ、子育て世帯のニーズの変化等を丁寧に把握するとともに、今後の教育・保育、地域子育て支援事業のあり方を検討されたい。